



清瀬の未来を拓く 学校づくり

【清瀬小学校で行われた「新しい学校プロジェクト」の制作物】
新しい学校はどんな学校にしたいのか、学校のどんなところが好きなのかを子どもたちが葉っぱに書いて「クラスの樹」をつくりました。

◆新校開校までのスケジュール

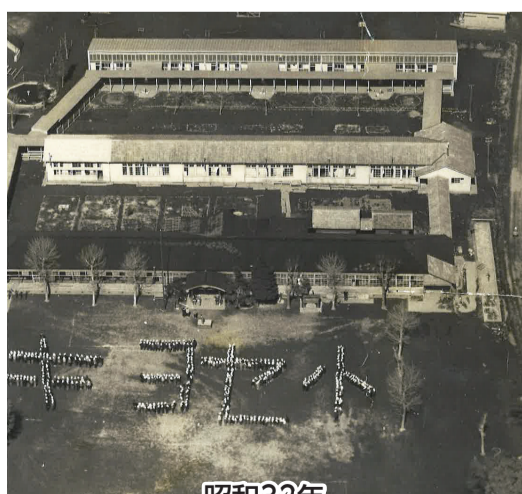
市は、今年で開校から126年を迎える清瀬小学校を、新しい時代の学びに適した学校とするために校舎をリニューアルします。令和11年度の新校の開校に向けて、「清瀬市新校開設に向けた基本構想及び基本計画策定委員会」を設置するとともに、特別講演会の開催、市民ワークショップの開催や教職員アンケートの実施など、さまざまな取り組みをとおして保護者や子どもたち、教職員や地域の方々と一緒に新しい学校づくりを進めています。

清瀬小学校が新校になるまでのスケジュール(予定)をご紹介します。☎教育企画課企画係 ☎042-497-2537



令和4・5年度の2年間かけて新校開設に係る基本構想・基本計画を策定します。ここでは、学校づくりの理念や目標、それを実現するために必要な空間、施設づくりに関する考え方などが示されます。その後、令和6・7年度で建物の設計をし、令和8年度から10年度の工事を経て、令和11年4月に新校が開校する予定です。

●歴史と伝統に支えられた新たな学校づくりを目指します●



昭和32年

創立60周年を迎えた際の記念写真

明治31年3月、清瀬小学校の前身である清瀬村立昇進小学校が誕生しました。記録によると校舎は平屋づくりで南側に表門、学校の裏には小山があったそうです。

昭和30年ごろになると、3棟の木造校舎となり、学年は2クラスで1クラスあたりの児童数は50人以上だったという記録が残っています。

同校の歴史と伝統が生み出した誇るべき清瀬の学校教育を礎に、新しい時代に求められる学校づくりを目指します。



創立120周年記念オリジナル

キャラクター「清イチ君」を校庭に表現

◆基本構想・基本計画の策定に向けた取組みの一部を紹介

基本構想・基本計画は新校開設の核になります。新しい学校で実現したい教育内容や方法、施設のあり方や機能について、学校で学ぶ子どもたち、教育活動に当たる教職員、そしてそれを見守る保護者や支援して下さる地域の方々と一緒に検討していきます。



詳しくはこちら

▶清瀬市の新しい学校施設づくりワークショップ

第1回 新しい学校施設の夢を語り合おう

1月21日に開催した1回目の市民ワークショップでは、子どもからおとなまで29人にご参加いただきました。新しい学校はどんな場所になるとよい？
どんな学びの場・生活の場を子どもたちに用意したい？ 地域の方にとって学校ってどんなところ？ などの視点から各グループで新しい学校施設の夢を語り合いました。



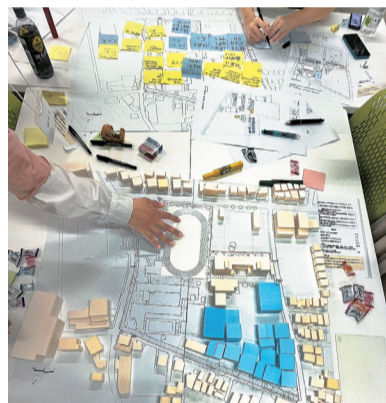
第2回 新しい学校施設の夢を語り合おう

3月25日に開催した2回目の市民ワークショップでは、13人にご参加いただきました。他地区の先進的な事例写真を用いて、こんなふうに学べるという(学びの場)、過ごせるという(生活の場)、使えるという(地域活動の場)と思う3つの場についてグループごとに話し合い、共有しました。



第3回 校舎の配置や教室の構成について話し合おう

6月17日に開催した3回目のワークショップでは、24人にご参加いただき、清瀬小学校の模型を使って、校舎の配置について一緒に考えました。



清瀬小学校の皆さんと一緒にこんなことにも取り組みました

- ・教職員アンケートとヒアリング
先生方に新しい学校で実現したい教育の内容や方法について、アンケートとヒアリングを実施しました。
- ・新しい学校プロジェクト
新しい学校はどんな学校にしたいか、学校のどんなところが好きなのかを子どもたちが葉っぱに書いて「クラスの樹」をつくりました(1面上部の画像を参照)。

▶特別講演会

令和4年12月、文部科学省で未来の学校創りのプロジェクトに携わっている、東洋大学の長澤悟名誉教授をお招きし、『清瀬の未来を拓く学校づくり～新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方～』をテーマに、特別講演会を開催しました。

当日は全国各地の先進事例や長澤教授の研究や実践を交えながら、来場された25人の市民の方々に、清瀬市の未来に向けた学校づくりについてお話しいただきました。市ではご講演の内容や、文部科学省の示す「新しい時代の学校施設の在り方について」^注を参考に、多様な立場、年齢の方々との協議を重ねながら、新たな学校づくりを進めていきます。



講演会の様子は
こちら
(YouTube)



注) 令和4年3月に公表された、文部科学省による「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」最終報告には、下図のようなグループ活動や興味・関心に基づく学習など多様な学びができる教室、ICT機器などをとおして学んだことをより高めたり深めたりできる環境、地域の人々と連携・協働できる空間などが提言されています。詳しくは文部科学省ホームページを確認してください。



詳しくはこちら



1人1台端末環境等に対応したゆとりある教室の整備



多目的スペースの活用による多様な学習活動への柔軟な対応



ロッカースペース等の配置の工夫等による教室空間の有効活用

教室・教室周辺の空間の改善・充実に関する創意工夫の例
(『新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について』最終報告【概要】より)

▶清瀬市新校開設に向けた基本構想及び基本計画策定委員会での検討

上記の取組みの結果を踏まえ、本委員会において基本構想及び基本計画の策定に向けて現在検討を進めています。検討内容については市ホームページを確認してください。



詳しくはこちら

今後の予定

- ・第4回市民ワークショップ ～校舎の配置や教室の構成について話し合おう その2～
- ・策定委員会での検討
今後3回程度開催し、10月ごろを目途とする検討内容の整理
- ・市報特集号の発行(11月15日発行予定)
- ・シンポジウムの開催 「清瀬市が目指す未来の教育と学校創り(仮称)」(令和5年12月に開催予定)

その後、パブリックコメントで市民の皆さんのご意見をいただき、今年度中に基本構想・基本計画を策定します。